

令和3年度第1回利根町地域公共交通会議 議事要約

【日 時】令和3年6月15日（火） 午後1時～午後2時

【場 所】利根町役場 会議室5-A

＜配布資料＞

- ・会議次第
- ・委員名簿
- ・会議資料1 令和3年度 利根町公共交通に関するアンケート調査（案）
- ・会議資料2 令和3年度 利根町ふれ愛タクシー運行に関する利用者アンケート調査（案）
- ・別添1 公共交通アンケート（案）の概要
- ・別添2 アンケート別 比較早見表

【出席者】伊藤委員，板谷委員，牧瀬委員，中村委員（代理出席 中村様），
吉岡委員（代理出席 水野様）土井委員，早川委員，赤根委員，飯野委員，
新井委員，岩戸委員，海老澤委員，川上（叔）委員，三好委員，狩谷委員

【欠席者】竹田委員，川上（敬）委員

【事務局】政策企画課：服部補佐，生井主査，五十嵐主査

1 開会

事務局（司会）

2 会長あいさつ

会長

皆さん，こんにちは。

本日はお忙しい中，また暑い中，地域公共交通会議にご出席いただきましてありがとうございます。日頃より地域公共交通会議にご尽力いただきまして感謝申し上げます。

公共交通につきまして，昨年，公共交通を協議する場としてこの会議を再編していただいて，まず町の現状・課題について皆様と共有しながら会議を進めて参りました。昨年度は町の長年の課題となっている栄橋の渋滞に対して，何らかの改善策がとれないかということですね，若草大橋有料道路の通勤時間帯における無料措置を実施し，それに伴ってどのような変化が起きたかということについて，調査を行い効果を分析・検証ということをして参りました。結果としては，無料化にはある程度の効果が認められるが，継続するためには，そのための費用をどのように負担していくか等についてももう少し検討していく必要がある，ということで結論づけたところでございました。

今年度は，町では高齢化が更に深刻化していきますので，今後の町の公共交通がどのような対策が必要になるか，情報を得るために町内在住の60歳以上の方々，2,000人を対象に公共交通アンケート調査を実施したいと考えております。また，このアンケート調査と併わせて，町の現在の公共交通事業でデマンド型乗り合いタクシー「利根町ふれ愛タクシー」に

においても利用者アンケート調査を実施したいと考えております。

本日はこの2つのアンケート調査のために作成しましたアンケートの素案につきまして、皆様にはご覧いただいているかと思いますが、事務局よりご説明をいただきまして、忌憚のないご意見をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

3 議事

事務局（司会）

（人事異動による事務局担当者の変更について説明，自己紹介）

それでは、次第3 議事に移りたいと思います。議事進行につきましては、利根町地域公共交通会議設置要綱 第5条第1項及び第4項の規定により「会議は会長が招集し、その議長となる。」とございますので、板谷会長に議長をお願いいたします。

板谷会長よろしくお願いいたします。

会長

それでは、議長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

議事は「令和3年度利根町公共交通に関するアンケート調査」及び「令和3年度利根町ふれ愛タクシー運行に関する利用者アンケート調査」の実施について、事務局より説明をお願いします。

事務局

（資料1「公共交通アンケート調査票（案）」、資料2「ふれ愛タクシー利用者アンケート調査票（案）」に基づき事務局より説明）

会長

はい、ご説明どうもありがとうございました。只今、2つのアンケートについて、まとめてご説明いただきましたが、どのようなことでも結構ですので、ご質問あるいはご意見がありましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

委員

現状コロナという特殊な環境下なものですから、一般的にお答えをいただく中でもそういうことが加味された回答が出てくる可能性があるかと思えます。ですから、その一つとしては、買い物に行かないで、ネット販売を利用した、アマゾンだとか楽天だとか、ということが回答欄にはないのですが、選択肢としてそういう環境が一つあるということと、そういう環境下から出てきた回答に対して、回答結果を平常時を担った形での、なんらかの形での補正が必要になってくるかどうか、その辺をちょっとお伺いしたいのですが。

会長

はい、ありがとうございました。事務局からどうでしょうか。

事務局

お話しいただいた通り、当初はコロナ禍を想定した質問としていたのですが、今回はできる限り平常時のものでやりたいということで、今回このような形をとらせていただきました。しかし、おっしゃった通り、コロナの状況ということもありますので、ケータリング、ネット販売、そういうことも考慮しながらやりたいと思います。

委員

ありがとうございます。

会長

その他いかがでしょうか。

委員

よろしいですか。アンケート資料1の5ページで問3—5の中で、どういう行き先があったら良いかという、町外の行き先の希望ということで、選択肢にJR常磐線取手駅があります。

また、ふれ愛タクシーアンケートの資料2の間11にも同様の設問があり、こちらの方にもJR常磐線取手駅という選択肢があるのですが、我々、路線バスの事業としましては、駅に結ばれると一番、お客様が流れてしまうということが危惧されます。もし、この町のアンケートで、そういった回答が多かった場合に、利根町さんとして、これを町民の意向として重く受け止めて検討されるのか、さらに、ものすごく多かった場合の方向性を教えていただきたいのですが。

事務局

お答えします。

仮にJR常磐線取手駅という回答が多かった場合、すぐにJR常磐線取手駅に行き先として付け加えるかという、そのようにはならないかなと思います。今回アンケートの対象者が高齢者ですとか、今後、車を運転しなくなるであろう方を対象にしておりますので、今回のアンケートは、貴重なご意見とさせていただく予定ですが、もしそのような回答が多い場合には、全町民の方に向けた調査を改めてする必要があるのか、そこから改めて検討する必要があるのかなと考えています。

委員

ありがとうございました。

会長

よろしいですか。はい、ありがとうございます。その他いかがでしょうか。

委員

はい。

会長

はい、お願いします。

委員

6ページの間3—7で、増便などに関する設問がありますが、町外行き先の追加について値上げするのはわかるのですけれども、土曜日の運行開始をした場合の値上げについては考えるべきかと思います。平日と土曜日の乗客数の差ってほとんどないと思うのですが。けれど値上がりしても実現してほしいですか、いう設問があるんで、そことどういう風に捉えていくのかなど。この土曜日運行をアンケート調査にするのであれば、福ちゃんバスが第1、第3、第5土曜日運行していますよね。そっちの実績も含めてこのくらい町民が利用したいかということ

ですけれども、そこを比較する材料があった方がいいのかなと、そうちょっと思います。

会長

いかがでしょうか。

事務局

そうですね、その辺りも実績を確認しながら、対応していこうと思います。

委員

もう一点いいですか。

会長

はい。

委員

問3-5の選択肢について、先ほど大利根交通さんの取手駅について議論がありましたが、それを検討するというのであれば、例えば藤代駅という選択肢も載せた方が、より参考になると思います。

会長

ご意見ですね。はい、ありがとうございます。

もし候補地として具体的な名前が選択肢にあると、選択肢がそのまま目的地として増やすことを検討している、という風に受け止められる可能性がありますので、選び方は慎重に行った方がいいのかなという風に思っている中で、その辺の狙いとして、駅とあと「JAとりで医療センター」、病院を1つだけ挙げたり、もし意図があるようでしたら、少し追加でご説明いただけると助かります。

事務局

選択肢の意図でしょうか。

会長

例えば、今までのご利用者の中で「こういう行き先があれば良いのに」とかそういった声がかかっているとかそういうことがあれば良いのですが。もしないようであれば、そのあたり、もう少し増やす減らすを含めて検討いただいても良いかもしれないですね。

事務局

はい。選択肢について今回4つとした理由は、本日の説明の中で、具体的には申し上げておりませんが、平成28年度に実施いたしました「ふれ愛タクシー利用者アンケート調査」において、「JAとりで総合医療センター」を希望する回答が特に多かったことや、実際の声として、布佐駅、取手駅などへの行き先を追加してほしいとの声が多くあったことなどが実績としてありました。

また、常陽銀行竜崎支店を選択肢の一つとした理由につきましては、ご存じの通り6月14日から常陽銀行利根支店はリテールステーションに変わったということで、実際に希望する方がいらっしゃるのかどうかを諮るため、選択肢として入れました。

会長

ありがとうございます。そういう事情だそうですね。

委員

よろしいですか。仮に取手駅，藤代駅にふれ愛タクシーが接続されたら当社としては，大打撃を受けるわけですが，それについて伺いたいと思います。

事務局

はい，お答えいたします。

その件については，大利根バスさんと以前からお話しさせていただいておりました。

仮に希望する回答が多かった場合は，意見の一つとして受け止める必要があると思っておりますが，すぐにふれ愛タクシーの行き先を増やすというのは考えておりません。

また，今年度，利根町公共交通ガイドマップを発行しまして，そちらに交通機関毎のルートやダイヤ，発車時間などの記載がありますが，北方車庫の方に乗り継げばそこから大利根バスさんを使って取手駅まで出ていただけるような方法もありますので，住民の方には出来るだけ既存の公共交通を利用していただけるような環境づくりをしていきたいと考えております。

委員

わかりました。近年，本当にですね，このところの少子高齢化に加えて，最近のコロナですよ，かなりお客様が減っております。かなり苦しい状況が続いてますので。もし仮にこういう際は，ちょっとお願いいたします。

委員

今回，選択肢の中にJR常磐線取手駅という入れさせていただいたのですけれども，先ほど事務局の説明があった通り，結構，アンケートですとか色々な声を聞くと，そういった声が正直多いものですから，今回は明記させていただいたのですが，じゃあ，そういった声が多くあって，実際町の方でやるのかといった場合は，正直言いまして大利根交通さんを含めて，ふれ愛タクシー，それから福祉バスも，それが一つの公共交通として考えていますので，その辺りは慎重にと言いますか，よく考えて行動していきます。声が多いからやりますよ，という感じでは全然考えておりませんので，今後大利根交通さんと町の方で連携していかないと，公共交通は上手くいきませんので，その辺りは充分しっかり話し合いをしていきたいと思っております。

委員

今，事務局にお答えいただいたような内容ですが，例えば免許返納者がどんどん増え，自分で移動する代替案，交通手段がない，という時に乗車される方がたくさんであれば，例えば大利根交通さんに増便をお願いするとか，それが叶わない時には町が補填していくとか，いわゆる共同といいますか，お互いにwin-winな関係になれるような方法を考えていかざるを得ないのかなと思いますので，その基礎の交通機関に乗っておられる方，それをないがしろにしたら，そういう町の政策はとれないはずなので，それは十分に配慮しながら，ご相談に上がることもあろうかと思っておりますので，よろしく申し上げます。

会長

はい，ありがとうございます。

民間事業者できちんとやっていただいているところを邪魔をするようなことをされると困りますので、ただ一つだけ考慮したいのは、バスを乗りたくてもステップを登れないとか、そういう事情のある方に限って取手駅のご利用希望が多い場合には、少し検討する必要はあるかもしれません。

また、その場合でも事前にご相談させていただいた上でやり方について、進めていく必要があるかと思います。なるべく民間事業者の皆様には健全な経営を続けていただけるのが大事だと私も思っておりますので、そういう方向でここでの議論も進めていきたいと思っております。

これはここに限ったことではありません、他の交通事業者についても、同じだと思っております。

その他いかがでしょうか、

委員

よろしいですか。基本的なことですが、ふれ愛タクシーの運行について私よく知らないので教えていただきたいのですが、このふれ愛タクシーは何人乗りですか。

会長

はい、事務局お願いします。

事務局

はい、お答えいたします。

ふれ愛タクシーは、運転手含めて10人乗りのハイエースでございます。

委員

これは前日の午後5時までに予約をして、その時間帯に、8時とか9時とかに出発するわけですよ。で、町内をぐるっと全部回って、それぞれのところに行こうとする形ですよ。

事務局

はい。これはドア・ツー・ドアでして、予約のあった方のご自宅の前まで行ってピックアップして、利根町内であればどこでも降りることができます。その他、龍ヶ崎市の関東鉄道竜ヶ崎駅、済生会病院まで直接お届けするという感じですね。

委員

その時にうまい具合に路線というか、ルートをそれぞれ考えて動いていくという感じでしょうか。

事務局

はい、その通りです。

委員

例えば、一便目の8時の時に9人を超えた場合は、10人目の人が予約電話が来たら、申し訳ないですけどもう乗れませんよ、という対応ということでもいいですかね。

事務局

そうですね。いっぱいになってしまった場合には、その時点で、そのあとにかかってくるものについてはおっしゃっていただいたとおりでお断りしています。

委員

予約は全て電話で行うのですか。

事務局

基本は電話です。

委員

はい。わかりました。ありがとうございます。

会長

他に何かございますか。

委員

茨城運輸支局です。先ほどの大利根交通さんの話に戻りますが、我々の立場として意見をさせていただくと、やはり公共交通というのは、元々ある路線バスやタクシーを活用していただきたいというのがありまして、自治体が運営するデマンドタクシーなどはあくまでも補完交通であって、タクシーや路線バスが主体であるべきということはこの市町村にも話をしてしています。ですので、今回アンケートで行きたいところに選択肢として取手駅を入れるとのことですが、可能であれば、選択式ではなく自由記述とするのはいかがでしょうか。

集計が面倒であれば仕方がないですが、わざわざそれを選ばせるような選択肢にするのはどうかと思います。

会長

そのあたりはいかがでしょうか、

事務局

自由記述ということですが、一応、選択肢として5つ設けているのと、それ以外に「その他」を設置してここで自由記述していただくことを想定していたのですが。

委員がおっしゃるのは、選択式ではなく完全な自由記述ということでしょうか。

委員

その通りです。

本当に行きたいところを書いてください、という方法も良いのではないのでしょうか。集計は面倒かもしれないですが、少しその辺りをご配慮いただければと思います。

それともう一つ伺いたいのですが、前回のアンケート調査の回収率はどのくらいでしょうか。

事務局

前回のふれ愛タクシーの利用者アンケート調査は、配布129件行っておりまして、回収が86件、回収率は66.7%でございます。

委員

今回は2,000人分を配布ですよ。

事務局

その通りです。

また、ふれ愛タクシー利用者アンケートにつきましては、200人程度を想定しています。

委員

ふれ愛タクシーは200人なんですね。せっかくアンケートやるのであれば、できるだけデータ取りができると良いと思います。

ちなみに私の母が独居老人で、コロナワクチンの接種券が届いたのに封も開けないで放置というのがあったので、高齢の方はこういうのをいただいても中身も見ないとか面倒くさいからいいや、というのがもしかしたらあるのかもしれないので、その辺を地域の民生委員さんなどにお声がけして、コロナ禍なので対面は難しいかもしれませんが、少しでも回収率を上げるような方法をご検討いただければと思います。

会長

はい。貴重なご意見ありがとうございます。事務局いかがでしょうか。

事務局

そうですね、おっしゃっていただいた通りで、無作為に抽出しますので、独居老人の方に当たる可能性もあるかと思っておりますので、貴重なご意見として、民生委員さん等にお声がけをするなど、回収率アップに繋がる方法について検討していきたいと思っております。

委員

お願いします。

会長

目的にもよるのですが、回収数を増やしたいということであれば委員のおっしゃる通りで、配布・回収を少し工夫してよいかもしれません。郵送で送って郵送で返すとなると非常に回収率が上がらないのですね、一般的に。今回私が気にしているのは、分量が多いので、高齢になるほど、若干失礼な話ですが、全部めくるのが面倒くさいので、放置して返さない、返してもメリットがないとなると、益々そういうことになるので、回収率は低いと10%とかになってしまうので、町民の方々のご意見をそれぞれ反映できるという結果になるかどうかというところも若干気になるころではありますね。これは町内会とかきちんと機能しているところで、要は役付きの皆様をお願いして配布回収までお願いするとした途端に回収率が跳ね上がるという非常によくある話で、それがもし可能ということであれば、そういった方法もやっていただいても良いかもしれません。この場合、もう無作為抽出とかできなくなるので、若干抽出の方法に問題があるかもしれませんが、例えば、全部配布を原則にしてしまったりとか、そういう方法もあるかもしれない、ということですね。少しそのあたりをご検討いただいても良いのではないかと思います。

先ほどの行き先の自由記述の件は、私もどちらかというと同じ考えでして、ここに書いてあると、町の方針としてここに行かせたいのでは、と思ってしまったり、そうすると今度はすごい勢いで丸を付け始めると思っていて、そうならないようにしていただく方が良いかもしれない、

ということですね。ですので、先ほど委員がおっしゃったように自由記述にすると非常に色々な回答が出てきますので、取りまとめが面倒にはなりますが、その方が後々よいかもしいですね。その中身も含めてもう少し、中身の詳細についてご検討いただいても良いかなと考えております。

その他いかがでしょうか。はい、お願いします。

委員

資料1のですね、対象者が60歳以上ということなのですが、今弊社でも「好きっぷ70」という70歳以上の高齢者の方に発行してまして、3か月で9千円、1か月で3千円ほどで、全線乗れるというパスなのですが、実は今70歳以上でも通勤されている方が増えてきてまして、60歳以上ですとほとんどの方が通勤で利用されています。無作為なので当然80歳代、90歳代の方も回答されると思いますが、本来の趣旨は、委員さん達おっしゃるとおり、バリアフリーといいますか、できるだけ路線バスや他の交通手段で担えない方に対しての手厚い行政のサービスを、という目的できめ細やかに色々な目くばせをしないといけないという意味なんですけど、60歳というのは今すごい若い年齢でして、また、この間2の目的別外出状況ですと、買い物と通院しかありませんが、60歳でも外出状況が通勤という方もかなりおられると思います。そういったニーズに対して、我々としては例えば路線バスの部分で通勤の方に色々ダイレクトにお伺いしたいという部分はあるのですが、本来の目的が違いますので、60歳というところはどうかでしょうか。

会長

この件について、私から申し上げます。

事務局は、本当は通勤なども入れたかったという意向だったのですが、私が見て多過ぎるので少し削除した方がよろしいのでは、と申し上げました。要はA3、2枚、8ページにまとめるために削った内容です。理由はまさにおっしゃるとおりで、今回高齢者の方のみを対象としていますので、そうすると通勤で大利根交通さんの助成を利用されている方々等については、現状色々あるかもしれないですが、移動について、今回狙っている方々と比べると大きな支障はないであろうと。で、この方々に対する意見、調書は当然必要でして、やる必要はあるのですが、改めて全年齢にやった方がいいだろうと私は思っております。今回はコミュバス等々、要は検討する必要のものがあって、現状ではふれ愛タクシーと、町として民間のサービスが行き届いていない部分があるのは承知していて、そこに対するニーズがどのくらいあるのかというところを、中心に探りたいなということで買い物と通院でやってきたという経緯でこの内容になりました。ですので、おっしゃることは全くその通りで、実はアクティブシニアの方々の交通行動に関しては、極めて重要でして、その方々がどういう行動をしていてどういうことを望んでおられるかという、非常に本来きちんと調査して、そのニーズに即した形で大利根交通さんにそういう内容で少しダイヤを変更していただくとか、新たなバス停を作っていただくとか、そういうことが必要かなと思っております。また、もう少し早めにやったほうが良いという話もあるでしょうし、その場合は町の方と相談する必要があると思いますが、そういったことで考えておまして、それでこの内容になりました。

60歳については、確かにおっしゃる通りで、例えば、この年齢で65歳、要するに前期高齢者というカテゴリの方々からでも良いかもしれないということだと思っんですね。私からは、以上です。事務局から何かありましたらよろしく願いいたします。

いかがでしょうか。

事務局

・・・（特になし）

会長

それでは、60歳からでいいですかね。今の60歳はある程度若いですよ。まだまだ現役の方が多いので、仮に返していただいても、要はそのことについてほとんど困っていないという回答がたくさん返ってきちゃうと、それはそれで困るかなという気もします。じゃあ、そうすると何歳からがいいの、と考えしまうところがあります。

イメージとしてやっぱりこういう公共交通については、自動車の運転等に支障がある、あるいは気になる年齢というと私個人の感覚では70歳くらいかな、という風に思います。ところが、70歳以上で良いかと言われると、それは迷うところなのですが、60歳以上で取っても良いのではないかという風に私は思っています。事務局も同様の考え方ですかね。60歳以上の限定の仕方については。

事務局

そうですね、はい。それと、60歳以上の方でも、例えば病気をしていたり手足が不自由な方もいますので、そういう方にも公共交通を使っていた際のニーズとして調査をしたいというところもありましたので、60歳からということですね。

委員

ありがとうございます。

委員

アンケートを対象にする地域には偏りが無いようにというお話ですが、年齢も偏りが無いようにと考えておられるわけですか。

事務局

そうですね、その辺りも考慮をしていきたいと考えています。

委員

そうすれば60歳から65歳とか70歳とか、あまりそっちに集中したアンケートにはならないかなという風に思いますけど。

会長

まあランダムということでよいと思います、同じ抽出率でということですが、要は元気な方ほど回答していただけるということで。

委員

ええ、そうです。返しますね。対面で聞き取り調査とかにしないと。

会長

その辺も含めて少し、事務局で配り方、対象年齢等ですね、60歳から限定で少し考えていただいているかと思います。

委員

70歳以上で2,000人というとほとんどになっちゃうのですかね。

会長

ああ、そういうことになるのですかね。

委員

8割程度ですかね。

事務局

60歳以上ですと、人口は7,963人なんですね。ですから大体4人に1人は当たるような計算になります。

会長

多いですね、半数弱くらいありますから、その2,000人といっても4人に1人くらいが抽出率に当たるということですね。

委員

ちなみに60から70となると、もっといくのですか。

事務局

多いですね。はい。

委員

集団である年代ですと。

会長

その辺の人口の分布も見てみたいですね、極端に少なくなっているところとか、それはまたありますので。そのあたりよくご検討いただくと、最終的に決められないところですが、60歳でいいのかなと今のところ気がしています。はい、貴重なご意見ありがとうございます。

その他いかがでしょうか。

・・・（一同なし）

会長

私から、アンケートそのものに関する質問をしたいと思います。過去にこういった公共交通に関わる住民対象のアンケート等を行った事例というのは、直近ではないにしても、過去にあったりしますか。いかがでしょうか。例えば20年くらい前にやったとか。

事務局

記憶にないですね。公共交通に特化したアンケートというのはないですね。先ほどお話ししたふれ愛タクシーに関するアンケートは、実施した経緯はあるのですが。

会長

利用者アンケートですね。

事務局

はい。住民の方に対する公共交通に関するアンケートというのはいりないですね。よく意識調査で、どう思いますか、というところて公共交通を充実してほしいね、そういう声はあるのですけど、個別に特化したアンケート調査というのはいり初めてです。

会長

要するに町政アンケートというよない、全般を説明する中にその項目をいれ込むというよないなものでしょうか。

事務局

そうですね。

委員

昭和50年くらいから人口がどんどん増えていきまして、その時に大和根さんに増便をかなり依頼が行ってたんではないかと。声として、正規のアンケート形式でやったものではないのですけど、そういうものはあったかと思ひます。住民の声としてという形だったと思ひます。

会長

直接会社さんに行く場合が多かったと思ひますが、その場合は役場経由とか。

委員

そのまま大和根さんに個人から直接お願いっていうのはいってないと思ひのですが。

委員

役場さんの方から色々、いただきましたので。

会長

そういう経緯があって増便していただいたりとか。

委員

大変な時だけお願いしてね。

会長

定期券も安いですしね。

委員

そこが本当にもう、その発想が維持できるかどうか。弊社会議の方でも議論になっていまして、70歳というハードルももう少し上げないと通勤でかなり使ってしまうのではないかと、あと時間帯を設けるとか、そういうところも課題になっていまして、頭の痛いところなんです。

会長

ふり幅はないと思うので、もともと乗っていない方々に買っていただくとかで利益を出していくという趣旨なので、これを通勤で使われると本当に経営に困ってしまいますよね。もう少し、でも自由に使えるようにしないと一方で、なかなか買うのも大変とかだと、9,000円ですからこれ以上は上げるわけにはいかないですし、むずかしいところですね。

委員

最初はたまに通院とか、買い物の時に手軽に使ってもらおうという趣旨があったのですが、毎日通勤時間帯に使用されているのが現状でして、本当に頭の痛い話です。さらに高齢化と教えていただき、余計実感が湧いてきましたし、納得させられました。

会長

そこも対処する必要がある可能性があるかもしれませんが、それがあつてバスをご利用いただいている方もたくさんいらっしゃると思うので、維持出来ないとなった時に、町としてどうするかというところですね。

委員

会長に前回うちのバスに乗っていただいた時に、問題点もかなり実感していただいた部分ではあるのですが、まして前回の栄橋の渋滞の話、そことリンクしまして、ちょっと今布佐駅の方は頭を痛めているところではあります。

会長

栄橋は、ちょっと車が繋がるだけで大きく遅延するという、そちらでもあまり回数に行っていないですが。その場合、その会社さんの必要もありますが、それ以外のところも含めてそちらも会議で何らかのこう意思決定して支援することができるような一応制度にはなっていますので。

委員

ぜひ。

会長

ぜひ、そちらについても検討したいところですね。はい。ありがとうございます。

はい、その他いかがでしょうか。ご質問いただいたみなさんも、もしよろしければ気軽にいただければと思いますけど。

・・・(一同なし)

会長

では、総論としては、高齢者の方々を対象としたアンケート調査の内容に近い形、いくつか修正すべき点についてご提案いただいておりますが、それと並行して前回にも一度実施しているデマンドタクシーの利用者に関するアンケートの方も併せて立証していくということはいかがでしょうか。

大きな問題点等なければ、この形で承認していただきまして、詳細を少し修正する必要がありますが、最終の案を皆様にお送りしていただくということでもよろしいですかね。

事務局

はい。

会長

はい。その間よければ私の方で議論いただいた内容を反映されているかどうかについて、案を確認させていただいて、問題なければ決定事項、決定案として皆様にお送りいただくようなスケジュールでいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

全委員

はい。（一同承認）

会長

よろしいでしょうか。では、そういうようなことで進めていくということを前提としまして、この議題の件につきましてご協議いただくということでよろしいでしょうか。

全委員

はい。（一同承認）

会長

はい。貴重なご意見とご検討いただきましてどうもありがとうございました。ということで、今後のスケジュール等につきまして、事務局から追加のご説明お願いできますか。

事務局

※今後のスケジュール等について説明

会長

どうもありがとうございます。そのようなことで進めて参りますので、次回結果についてご提示いただけるということでございます。よろしく願いいたします。以上で、本日の議事終了でございます。議長はこれで終了させていただきます。皆さま、ご協力ありがとうございました。

事務局（司会）

会長，ありがとうございました。次第の4 その他でございますが，何かございますか。

事務局（司会）

はい，ないようでしたら，先程担当からありましたとおり，アンケート調査実施後に第2回会議を開催し，この調査結果につきまして委員の皆様と協議して参りたいと思いますので，引き続きご協力を宜しく願い申し上げます。

それでは，以上をもちまして，「令和3年度第1回利根町地域公共交通会議」を終了いたします。

皆様，お疲れ様でございました。